



2023年度医療評価調査結果「満足度アンケート」

居宅

ご協力頂きありがとうございました



居宅サービス計画に利用者や家族の希望が反映されている
 他の事業者への連絡もれがない
 ケアマネが所属する事業者を知り合いに紹介したい
 現在のケアマネジャーに満足している

前回→今回

前回との差

9.4→8.7(全国平均9.1) -0.7
 9.1→9.3(全国平均9.1) +0.2
 5.6→7.4(全国平均8.1) +1.8
 9.6→9.4(全国平均9.4) -0.2

訪問介護

ヘルパーの訪問時間は守られている。
 ヘルパーの交代時に連絡や引き継ぎがきちんとできている
 ヘルパーが交代してもサービスの質や内容は変わらない

10→8.4(全国平均9.4) -1.6
 9.6→8.4(全国平均9.0) -1.2
 9.3→7.9(全国平均8.8) -1.4

訪問看護

看護師の看護内容に満足している
 看護内容が家族にわかるよう連絡票が工夫されている
 全体として利用しやすかった
 この施設を知り合いに紹介したいと思う

9.0→9.1(全国平均9.0) +0.1
 7.5→5.6(全国平均7.5) -1.9
 9.2→9.7(全国平均9.0) +0.5
 7.8→8.6(全国平均7.6) +0.8



★居宅介護★ ケアマネジャーより

今回の結果では2項目がマイナスという結果になってしまいました。特にケアプランへ利用者様ご家族様の希望が反映されている点でマイナスになってしまった事は、我々ケアマネジャーにとって最も大切な、アセスメントが不十分なのかもしれません。今回の結果をしっかりと受け止め今一度初心に戻り、アセスメントの力量を向上させ、利用者様・ご家族様が安心して在宅生活を継続できる様、支援して行きたいと思っております。今後共、宜しくお願い致します。



★訪問介護★ ヘルパーより

今回の回答数は21件で30%程度となっています。昨年の評価に比べ全体的に下がっています。ヘルパーの引き継ぎ時やサービスの質の点が下がっていることから、ヘルパー会議などでの学習を深めてまいりたいと思っております。また、ヘルパーの訪問時間についても、時間変更の対応を取らなくてはならず、ご不便をかけています。また、定期巡回については、サービスの特性上、時間変更は避けられない状況となっています。ご理解いただくと助かります。ヘルパー間での共有と同行での質の向上を目指し努力してまいります。



★訪問看護★ 看護師より

今年度の評価では「看護師のケア内容や態度気配り」「全体的に利用しやすかった」の項目で例年になく高い評価をいただきました。また、「主治医との連携」についても、連携が見える仕組み作りに努め評価が上がりました。しかし、看護記録の電子化やおひとり暮らしの利用者様が増えたことに伴い、御家族への連絡が不十分となっていることがわかりました。今後はご家族との連携を課題とし同様に御家族様への安心に努めて参ります。



アンケート結果をうけとめ今後のサービスにいかしていきたいと思っております。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



9月から定期巡回・随時対応型訪問介護・看護を開始し、半年が経ちました。定期巡回は、24時間つながる安心と柔軟に訪問回数、サービス内容が対応できるサービスで利用者様の自立した生活を支えるサービスです。ご利用者の事例をご紹介します。



1 換気をする



病気予防には換気が大切。新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症を予防します。

事例①

服薬管理でサービスを開始しました。訪問看護と連携し、毎日服薬できるように調整を行いました。訪問をする中で換気やゴミ出しの問題など様々な課題が見えてきました。日々の訪問を通して一つ一つ解決していくことで、お薬が飲めるようになっただけでなく、ご自宅の環境も整えることができました。

事例②

病院から退院後、自宅で介護することに不安があり1日3回排泄介助にて訪問しました。利用開始当初からご家族も積極的に介護に参加され、排泄介助や移乗介助を一緒に行いながら徐々に慣れることができました。時には移乗介助がうまくできないこともありましたが、すぐにご連絡をいただき訪問させて頂きました。デイケアではトイレで排泄できるよう取り組み、連携を図ることで、自宅でもトイレで排泄介助ができるようになりました。ご本人の生活動作も向上し、ご家族で介護できるようになり、定期巡回のサービスを終了し、デイケアの利用回数を増やすことになりました。ご家族からは、あの時自宅に帰るという選択をしてよかった。不安なく介護ができるようになったと嬉しい声が聞かれました。

3 トイレに座る



トイレで排泄する事は人間が護るべき尊厳の基本と考えます。布パンツでの暮らしをサポートします。

10 ターミナルケアをする



元気な時から人生の最期まで、地域との連携でご自宅でのターミナルケアをサポートします。

事例③

最後にお看取りさせて頂いた事例です。最期まで住み慣れた家で生活をしたいという思いから、サービスが開始となりました。声を出すことも困難となり、『自宅からナースコールがなれば訪問する』こととして、訪問してご希望を伺いながら、訪問看護や訪問診療につなげ連携を図ることができました。お亡くなりになった際はペンダント型のナースコールボタンを握りしめていたこと、「最後までいつでもつながっているという安心感」があったのではないかと感じました。

今後も利用者様お一人お一人に寄り添い、「その人らしさ」を大切にして、ご本人の望む場所で最期まで暮らすことができるよう支援させて頂ければと思います。

県営指扇団地健康チェックを実施しました

2024年1月29日、県営指扇団地の集会所にて健康・体力チェックを行いました。看護師による血圧測定、健康相談、握力測定、おおみやケアセンターのケアマネージャーによる介護相談などを実施しました。当日は7名の方が参加され、「コロナ禍で集まる機会がなかったので、集まって話すことができ嬉しい」などの声が聞かれ、終わった後も皆さんで楽しくお話ししていました。今後も地域の健康づくりのため、こういった取り組みを継続していきたいです。

